京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十二年　紀元二千五百六十九年

本紙定價　一枚金二錢▲一ケ月前金卅五錢▲三ケ月前金壹圓▲六ケ月前金貳圓▲郵税一ケ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

寄書

工場法案に就て

旭川

母國農商務省にて工場法の制定發布を企圖せるは實に明治廿五六年の頃なりと記憶す、而して其の法案の起草調査を終了し高等諮問會議を召集し、附議したるは確か三十一二年の頃なりと記憶せり、高等諮問會は其の名の示す如く事實高等諮問にして其の諮問を受けたるものは工業會社の重役に非ざれば其の相談役、技師等の羅にして同法の發布が直ちに自己生存の消長に關係すべき重大なる利害關係を有する勞働者側の之れに與らざりしは勿論なりとす、法案の制定者は省の高等官、此れが加删增除の諮詢に與る人は利害を勞働者と相反する方面に有する工業家なりしなり、當時の工場法案なるもの〻内容推して知るべきに非ずや、此の法案の折角所謂高等諮問會を經たるにも拘はらず議會に提出の運びに至らざりしは一二勞働者組合の反對運動の力に依るべしとは云へ又自然の配劑之れをして然らしめたるに非ざるなからんや。爾來年を閲すること十年、歳として同法の草案起草云々の説を聞かざるなかりしも、峯の松風水の月、事實の上に之れを認むる能はざりしに頃日に至り農商務省は起草審議を了りたりとし此れを發表すると同時に全國商業會議所及び重なる工業團体等に諮問し同時に地方長官の意見をも徴し更に審議の上廿六議會に提出せん豫定なりと傳へらる〻を聞く、工場法は即ち工場法なり工業法にあらず故に同法の諮問を工業團体にすると同時に勞働團体に向つても又之れを諮議せざる可らざるものたるは論を俟たざるべきに、賢明なる我當局者は何んの見る所ありてか前例の轍すべきものあるにも係はらず直接深大なる利害關係を有する吾人勞働者を度外し制定せんとはするぞ、余は今にして其の内容を窺知し得ざるも又甚だしく之れを識るに苦します、同法前途の用推して知るべきのみ。平かならざる勞働者の間に所謂社會主義の動力を得つ〻ある所以豈に偶然ならんや。（二十七日稿）

雜報

平壤及開城の古墳（下）

工學士　栗山俊一

二、開城の古墳

開城は麗朝凡そ五百年間殆ど歷世の王都にして往時堂塔宮闕等處々輪奐の美を競ひ長く文化の中心たりしと雖も一度都の漢陽に遷さる〻や漸時凋零衰頽して今日に到り今や當時建築の遺物一も之を見ることを得ざるのみならず松嶽南麓王宮殿門の遺趾變じて白菜の田圃と化し礎石殆ど運ばれて昔時の王都の其面影をさへ偲ぶに由なからしめんとす荒廢の極轉た低徊去るに忍びざる也其間に存在して漸く當時文化の一端を傳ふるものこそあれ是れ即ち吾人の茲に研究せんと欲する所にして舊都山河の保存せる唯一の寶庫即ち麗朝の古墳なりとす。

●●●●位置及地勢　麗朝に於ける墳墓は其建設せる位置前代と其趣を異にし總て山腹を稍平坦として南面して之を築けり其地形又一定の形式あり、水其山を挾んで前方に流れ東南に會して東方に流る〻の所ならざる可からず東麓の流を主水と稱し西方の流れを客水と稱すと謂ふ斯くの如き地勢は啻に陵墓のみに止まらず當代の王宮滿月台の地形と相符合せるものなり。

●●●●外形及配置　外形は平面圓形なる土饅頭形にして大さ稍前代の物より小に且つ其基脚は石を以て之を十二角形に圍み一面古くは南面して表面に十二支を浮刻す南方は即ち午の象なり其期凡そ四百年間殆十二面の一角を南面せしめて各面に人物及雲等の彫刻を試みたり陵墓は繞らすに石欄を以てす其形式時代に從て又變遷あり石欄の周圍には動物の石像を繞らし其方向陵墓を背にして蹲し前面の石人と共に守護の意を表はすが如し石像には羊虎を用ゐ又獅子の像を用ゆるものあり墓前には石床あり其前面に石燈あり長明燈と稱す又時代の特色を表白せる工藝品たり石床の左右に望柱あり其前方には石床石燈等を挾んで石人を立つ文官武官の像にして二對或は四對にして其狀恰も王陵を守護するに似たり、以上は今日麗朝の遺物にして其他碑閣丁字閣等其前方に存在せるが如きも今之等は知に由なし

●●●●内部構造　内部構造は頗る簡單にして單に平面正方形なる一石室に過ぎず天井は多く大石數枚より成り内部は悉く漆喰を施せるものにして其厚さ七八分より寸餘に及び時に其表面に壁畫を描けりと稱す、之を要するに其の外部建築的設備に至りては或は簡單平調見るに足るものなきが如きも周圍に繞らせる石欄の以て當時の建築細部の手法を推知せしむべく基脚石板の彫刻は以て表面裝飾の一端を窺知するに足るものにして是等の研究により以て高麗藝術の一斑を知るを得るなり（了）

人蔘病害豫防

（三宅農學博士の談）

三宅農學博士は曩きに開城に於ける度支部司税局蔘政課に到り親しく耕作者等に對して人蔘病害豫防に關する一場の講話を爲したるが今其要旨を聞くに昨年來人蔘病害豫防試驗を施行せる結果茲に一部の功績顯はれたるに依り諸君をして之を實見せしめんが爲め本日此處に集會を乞へる次第にして本日は主として苗圃に實行せる試驗のみに就て講話を試みんと欲す在來法に依り栽培せしものは此標本の示すが如く大半病害に侵されて用を爲し得べきもの殆んど稀なるも之に反して改良法に則り『フォルマリン』を使用して栽培せしものは殆んど全く無病健全なる苗蔘を育成し得たり然れども單に標本のみに就て見る時は其間多少の疑念を挾むなきを保せず依て蔘政課構内試作地に於ける苗圃に就き實地に之が生育の狀態を試驗せんとて聽講者を苗圃に導きて在來法及改良法に依れる各一間を採掘し斯業に經驗を有するものをして撰蔘鑑別せしめたる結果左の如し

一、在來法に依れるもの一間中
　健全根百十五本、病根六百〇五本
一、改良法に依れるもの一間中
　健全根九百五十五本、病根十八本

今兩者の比較に依り其成蹟を見るに實に大略一と九の比にして假りに在來法に依り三圓の收得ありとせば改良法にては二十七圓の收益を得べき割合なるが苗圃に於ては尙『ボールドウ』液治療試驗のものと比較對照し實物を提供して講述を爲して曰く斯くの如き試驗は短日月の間に容易に其効驗を擧げ得べきものにあらざるも蔘政課に於ては大に開城人蔘の前途を慮り莫大の費用と勞力を抛ちたる結果茲に此成蹟を收め得たるは吾人の大に喜びとなす處なり藥品を用ゆると否らざるとは實に如上の結果を生ずるを以て來年度に於ては諸子の收益を增さしめんが爲め高價なる藥品を無代價を以て分與すべければ宜しく當課の指導に從ひ『フォルマリン』を使用して健全なる苗蔘を育成する事に務むべし然れども『フォルマリン』は毒性を有する藥品にして其使用當を得ざるや却つて人蔘を枯死せしむるの虞あるが故に之れが使用に際しては用量及其方法を誤らざる樣蔘政課の指導を受くべし云々

和歌募集

勅題『新年雪』

選者　九皐館去留

何首にても隨意、用紙用箋類も又御隨意の事、締切期限十二月二十日、發表は四十三年一月元旦の本紙上を以てす、同好の士奮て投詠せられんことを希ふ

十一月廿日　本社編輯局

鎭西八郎

第四十二席　伯山改　神田松鯉口演

然るに娘の彫江は、父と異ひ物を憐はれむの心深ければ、父を諫めて申しまするには『父上樣、此頭人の噂さを聞きますれば、彼の爲朝どやらん云へる人は、智勇世に勝れ、射ることは古の人も比ぶべきものなし、今こそ流人となり給ひつれど、もし歸洛し給ふかとあらば由々敷一大事にて候、故に今又は島人其德に感じて付き從ふ如きこと日より節に迎取りて誠心を示し給へば却つて父上の爲めに末々までも宜しからんと存じまする』と道理を竭くして諫めましたれども、忠重は一切承知致しません『コレ娘、其方は兎角物に憐れみがあり過ぎて困る、此父が工藤殿より命せられしには、都なる少納言入道信西殿の仰せにて成るべく強顔に當れと云ふことであるぞ、朝命に背きて流罪にて何の手厚くするに及ぶまいぞ』と相變らず日に一椀の粥しか與へませぬので、彫江は之れを憐れみ、腰元のた初と云つるものに日々、魚や野菜の煮たるものなど贈りまするので爲朝は大に悅んで居られまする、此時分此島の風俗は、男も女も髮を結はず、女子は紅白粉など云ふものあるてとさへ知りません、潮風の爲めに色黑く髮の毛縮く縮れ、見るから怖ろしき形相をして居りまするけれども、固より人間のことでもあり島人の質朴なるゆゑに、人情も一層厚いのであります、彫江は流石に島の守の娘だけあつて、なか〳〵に溫雅柔順、容貌も美しい、先づ都人と言つても恥かしからぬ程であります、れ姫樣が腰元に命けて食物を運ばせるので、島の女共も我れも我れもと食物を運んで來るので、今は爲朝一人にては食し切れぬ程であります、或日一人の島婦が持つて參つた魚肉が非常に美味ので 爲「オヽ是れは大層に旨いな、何と云ふ魚ぞ」と尋ね給ふ 女「こはミサゴと云ふ鳥が魚を取て餌とし多く魚を取りたる時は食殘せるものを岩の狹間へ貯置きて、之れが自から浪に洗はれ、潮に浸りて斯くの如く相成るとミサゴ鮓と稱へ、誠に珍らしきもにて候」と申しました、爲朝は緣故を聞いて「ウム、左樣にてありつるか、我れ往年豐後國にありし時、木綿山とか云へる所にて紀平治と云へるものに猶酒を振舞れしが、實に美味にてありし今又ミサゴ鮓を食す眞に山海の珍味好一對であるぞよ、我れながら口には果報の生れなり」と打笑ひ給へば、島婦もイト喜びつ〻家路へ歸りました、斯くて其年も暮れて明くれば保元二年の春彌生の頃そよ〳〵と吹く風の心地好きに、濱邊に立出で〻彼方此方と徘徊し給ふ折しもあれ、後の方に當つてドツと許りに起る人聲、爲朝は何事ならんと振向いて見給へば、赤裸々になりし島人等、十數人、數匹の牛を追ひながら 甲「ソラ危ねい〳〵」乙「ソレツ、其方へ往つた、氣を付けねいと危ねいぞ〳〵」丙「ソレツ」丁「ソラ危ねい〳〵」と手に棒を持つ者もあれば、繩、弓矢など持つ者もある、其中に三郎太夫忠重の下僕が一人爲朝の傍へ來り 下「貴方樣、早く彼方へ御出でにならなければ危險でございます」爲「何だ、彼の騷ぎは……」下「イヤ外でもないのでございますが、此島には野牛野馬が澤山に居りまして、平生人に慣れませぬから飼ふことが出來ません、唯夏の初めに鰹を釣る時、牛の角を用ゐて餌としまするので、丁度今頃は牛の角を折るのに木芽の萌出る時は唯一打に折れまするので、毎年今頃野牛を狩出して角を取るのでございます、所がなか〳〵野牛の奴强いので、時に依ると角で突倒されて死ぬ者もございますので、彼の通りの騷ぎでございますが、貴方樣も此所に居らしては危のうございます」爲朝之れを聽いてカラ〳〵ッと打笑はれ「何だ、牛や馬を獲るのに彼樣な騷ぎをするのか、牛や馬の五十匹や百匹、俺一人で獲つてやる」下「御串戲を有仰つては困ります」爲「イヤ串戲ではない近頃肘の筋を斷れたから力は昔に劣れども牛や馬などは屁とも思はず、案内しろ〳〵、牛や馬の澤山居る所へ案内しろ、百匹でも二百匹でも獲つてやる

東京電報

▲政友と增俸問題 政友會税制調査會は元田委員長主として材料蒐集中なるが官吏增俸問題に就ては國庫費を以て支辨する文武官吏以外地方廳の負擔若くは文官に屬する郡書記以下の增俸を實行すべきものと認め其負擔は國民の双肩に懸り中央地方を合して二千餘萬圓に達するを以て明年度は相當の程度に打切る方針なりと(廿八日)

▲滿韓鐵道と連絡地 滿韓聯絡輸送開始に伴ひ鴨綠江附近に完全なる海陸連絡地を設くる必要あり目下其土地及經營等調査中也(同上)

▲大久保大將參內 大久保駐韓軍司令官は明廿九日午前十時半參內駐韓軍現狀に就き伏奏する筈(同上)

▲內田公使の拜謁 內田駐米大使同夫人は天皇陛下に拜謁仰付られたり(同上)

▲歸朝武官の拜謁 今回伊國より歸朝したる莊司海軍大佐及墺國よりの歸朝者福田步兵大佐の兩氏は本日參內天皇陛下に拜謁仰付られたり

▲故稻垣氏追悼會 廿七日午前十時より名古屋覺王山西暹寺に於て故稻垣公使の追悼會並に同地墓地に於て遺髮の入佛式を擧行せしが參拜者は駐日暹羅公使稻垣公使未亡人其他知名の紳士百余名にして盛會也き

▲新電話制度調査 遞信省は今回新電話制度を案出し目下調査中なるが度數制の如き世論の紛起を恐れ秘密に付し居れり(同上)

▲人事部條令の發布 勅令を以て海軍人事部條令を發布されたり內容は全文七箇條にして橫須賀、吳、佐世保及舞鶴軍港に新設し下士卒の兵籍を主管し帳簿募集及び召集に關する事を掌らしむ實施は十二月一日よりなり(二十九日)

▲選擧法と單記案 衆議院議員選擧法單記制建議案は某貴族院議員より今期議會に提出せらる可し

▲滿銀不成立と正銀 滿洲銀行は不成立に終りしを以て正金銀行の營業を擴張して高利貸に惱まされ居る同經濟界を救ふべしと(同上)

▲渡米團歸朝變更 渡米實業團の一行は二十七日桑港に着し十二月三日出帆二十日橫濱着に變更したり

▲本谿湖炭坑問題 本谿湖炭坑問題に就き大倉組は百四十萬圓を讓步せしも淸國は依然百万圓說を主張して之に應せず交涉尙ほ行惱めり

▲賀陽宮の御重態 京都の加陽宮邦憲王殿下には腸癌にて昨今危篤に瀕せられ居れり以て各宮殿下よりの見舞頻繁なり(同上)

北京電報

▲境界談判の不調 墺門境界問題は葡萄牙委員の態度强硬にして談判不調に歸し高境界大臣は北京に急歸せるが領土問題に就ては我ブラタス、間島始め列國皆淸國に惱まされ殊に仲裁々判に付せんとするは淸國の慣手段なりしが今回は却て葡國より仲裁說を提起され狼狽して不調となれるなりと(二十九日)

▲遣外海軍學生數 淸國の本年度遣外海軍學生總數は六十二名にして其內三十五名英國二十七名米國也

▲粤漢借款不成立 粤漢川漢鐵道借款成立を傳ふる者あるも未だ英、米、獨、佛四國の協定確立せず殊に四川省に反對あれば成立無根ならんと當局者は語れり(二十八日夜着)

紐育電報

▲尼米兩國の危機 ニカラガ駐在米國副領事はゼラヤに拘禁せられ遂に銃殺せられたりとの報達し米國政府は直ちに砲艦と水兵を載せたる運送船とを差遣せり兩國の形勢倍々危殆に瀕せり(二十九日)

▲尼內閣顚覆の兆 ニカラガ內閣は革命黨に爲め急迫せられ將に顚覆せんとし同國は內憂外患交々至り大動亂を極めつゝあり(同上)

雜錄

統監の親書捧呈

曾禰統監は兒玉書記官歸任の際捧持したる我 天皇陛下より韓皇への御親書捧呈の爲め二十九日午前十一時石井武官國分秘書官の二氏を隨へ昌德宮に參內韓皇に謁見の上直ちに退出したり

御親書の御趣旨

二十九日曾禰統監より韓皇へ捧呈したる我 天皇陛下の御親書は今回兒玉伯爵が捧持し歸任したるものにて嚢に韓皇勅使閔宮內大臣が捧呈したる伊藤公薨去に關する御親書の御返簡なりと漏れ承はる

支出證明と遲滯

韓政府各部會計は紊亂其極を超ゐ殆んど會計法及出給證明規程の如きは之が存在を無視せられ居るの狀あり現に毎月の支出計算は翌月十五日迄に會計檢查局へ證明す可き筈なるに一として期限通り提出するものなく現に會計官吏等は規程の期限抔は眼中になく數箇月を經過し如何に督促するも平然たるもの如く特に法部の如きは一箇年以上の遲滯を爲し既に同部に廢賂せられたるも今に決算を爲す能はず臨時吏員を存置し整理中なりと云ふ元來支出の證明は會計官吏の執行したる責任を證するものにして財務の進行上一刻も忽諸にすべからざる重要事務なるに其怠慢斯の如くなれば裏面には必ず證明遲滯の罪惡伏在し居るや疑ふ可からず然れば會計事務の振肅は規程を勵行して責任の重大なるを自覺せしむるの外なき由

度相渡日の旅程

二十七日午後十時四十分南大門發列車にて東上したる高永喜大臣は東京にて桂首相を往訪し尙韓太子の御機嫌を伺候し令息東宮太夫高義敬氏同夫人と面會し一日桂首相に隨伴して下阪三日造幣局貨幣試驗に列席し一兩日滯阪の上直路歸韓すべしと

●農學校新設に就て 此程入京せる黃海道澤田書記官は廿八日學部に至り農學校新設の件に關し打合せをなせしが右は來年度地方費中より海州に一箇所國庫より鐵道沿線の某所に一箇所都合二箇所新設の由なるが何分韓學生は法律家若くは政治家たらん事にのみ傾心し毫も生產的なる農業の發達なぞに顧念せざる風ありこれ家國百年の大計より見て頗る寒心すべき現象と云ふべし農學校の設置は特に韓國の現狀に鑑みて喫緊事たり各道共來年度に於て農學校の新設せられん事我れ人共に望むところなるが學年は二年若くは三年とし同地方に農事試驗場種苗所等あらば之等と連絡を取り最初は先づそれ等の附屬として設置し漸次改良を加へ生徒數の增大を待て獨立せしむる方針なりと學部當局者は語れり

●在韓日本人戶口數 本年八月末現在同戶口數は人口十四萬三千七百〇六人戶數四萬一千三百四十九にして七月末に比すれば人口に於て千百七十八戶數に於て三百四十六戶を加し尙は昨年同期に比すれば人口二万三千四百十四人戶數七千二百八十九の增加を示す內京城は男二万一千八百三十五女一萬八千九百一人にして七月末より五百六十一人を增加せるが他主要日人の在留地は何れも多少の增加を來せしにも關はらず仁川の現在一萬二千八百六十九人に對し七月に比して八十一人を減し元山の同七千三百廿六人に對し三百五十八人の減少は兩地の發展上大に注意すべきの現象なりと

●監督局の增設計畫 徵稅機關の改正以來全國の徵稅成績を見るに全州財務監督局管下の成績最も不良なりし爲め政府は昨年八月忠南公州に新たに一監督局を設置して全州監督局所轄より忠淸南道を分轄せしめて全州監督局は全羅南北二道を管轄することになりたるも交通の不便なる爲め未だ豫期の如き成績を擧ぐる能はざるのみならず經濟事情の調査を要するもの益々多くなりたるを以て度支部にては來年度に於て更に全羅南道光州に財務監督局を新設する計畫あり既に其經費も來年度豫算に計上したりと云ふ

●宗教學校同盟休校 長老派の宣敎師グールの監督せる東大門內敬新學校に於て此程全校の韓學生二百餘名が同盟休校を企て東署の警官數名出張の上辛うじて鎭撫し得たる一椿事あり理由は數學敎師なる韓人某の敎授振り不忠實なりとて二學年生徒が激昂し他の學童にも謀し合せ扨てこそ前記の始末を演出したる由なるが之等は表面に顯れたる事實にて裏面には何等かの意味ひそみれるなるべし去る二十七日グールが學部次官訪問も多少此等に關聯せる交涉なりしなるべしと

●實業學校の出願數 實業學校としては官立仁川實業學校(商)公立釜山實業學校(商)私立曾寧實業學校(農林)私立成一實業學校(農林)公立定州實業學校(農林)の五校に對し認可を與へたるが今回公立濟州實業學校(農林)私立宣川實業學校(農林)私立咸北染織女學校(染色)の三校は其認可を出願中なるを以て不日認可さるべし

●地方費の賦課變更 來年度に於て本年度と異なる地方費を賦課せんとするには一々內部及度支部の認許を受け規則の改正を要すべきが目下提出分のみにても(一)地稅率の百分の五を引上ぐる事(二)或種の營業稅を新たに課する事(三)戶稅を徵收する事の三件あり內部にては度支部と協議の結果差支なき限り許可する方針也と

民長詮衡の紛紜

民長候補選定の爲め擧げられたる詮衡委員は既報の如く古城管堂氏を推薦するに決し其報告會を二十七日民團役所樓上に開催せり和田議長以下各議員出席し中島司馬之助氏開會劈頭先づ起ちて曰く今回入京せる大內代議士を訪ひ對民長問題の意見を叩きたるに兎に角民意を無視せず統監府が候補推薦を促がし來りたるは大に多とす可き次第にして飽く迄官選令固執の意志なき事明かなり然れば議員側に於ても此意を諒し速かに圓滿なる解決を爲し自治機關の運用を誤らざらん事を望む旨語り居れりと傳へ夫れより報告會に移り松永達次郞氏詮衡委員を代表して詮衡經過を委細說明し古城管堂氏を最適任と認め茲に之を推薦せりと述ぶるや滿場鼎の沸けるが如く熱狂し候補として僅かに一人を擧げたる理由如何と叫ぶものあり委員の權限を論ずるものあり質問續々として辭の如く繼いで到り委員諸氏も非常に閉口し現に山口委員の如きは予は菊地謙讓氏を熱心推擧せる一人にして菊地氏若し肯んせざる時古城氏を推さんとの條件付にて贊成したるのみと詮衡經過の亂脈を遺憾なく曝露し自他委員の面目に汚泥を印したるの滑稽を演せり特に又背川廣濟氏が古城候補に向つて氏の就任後の御意見承はらんと突き込みたるに民力の休養を期し大に財政の整理を計らん又民團吏員の風紀矯正に勉むべしと答へ二十年前民黨の叫べる其儘の大方針には一同執れも呆然として唯だ黴嘆に禁へざるものゝ如かりき斯く古城氏に對する一般の意向は稍々嫌焉の狀ある爲め委員折角の勞苦も空しく水泡に歸し更に新規蒔き直しを爲す可く就ては數日間熟考の餘地を存じ來月二日更に決選投票を行はんと決し散會せりと(電通)

期成會の發會式

二十九日午後七時より商業會議所に於て鐵道期成會發會式を擧げ委員長、委員、幹事の選擧を行ひ鐵道運動に關する諸般の準備をなしたる筈

東拓訴訟事件判決

韓岸繁太郎氏對東拓總會無效請求事件は昨二十九日京城控訴院に於て判決言渡しあり該控訴は棄却せられたるが理由とする處は大審院の判決例は統監府裁判所にては覊束されずと云ふにあり尙同氏は直に上告を爲すとの事なり

●屠獸稅と食肉檢查 各道の牛市場は觀察使に於て屠場認可を與へ一頭毎に屠獸稅を課したれるが來年度より技師一名づゝを各道に配置し食肉の檢查を行はしむる筈にて之等の費用は國庫より支出すべきが一道一人の獸醫にては到底各牛市場の檢查手回り兼ぬるを以て各警察官に牛疫豫防食肉檢查の方法を實地に敎習して之に充て尙不行屆の箇所は屠牛業者相互間に於て獸醫を招聘せしむる方針なりと

●輸入犯則者の處分 韓國改正度量衡法は統監府令の取締法と相待ちて販賣特許を受けたるものに非れば輸入し能はざるに未だ之を知悉せざるものある爲め往々犯則者を出だし現に稅關の爲め差押の厄を蒙り居る者數十名ある由なるが右は法令未知の爲め無意識の間に犯かせる次第なれば當局者にも幾分之を恕し堅く將來を戒飭し解放す可き方針にて內議中なりと

●仁川民長港灣視察 仁川築港に次で起るべき問題は港を如何に活用すべきや之れを利用して益々有功ならしめんとせば港の組織及び其活用方法を講究する要あれば岩崎民長は近く神戸及び橫濱に出張して右に關する詳密なる調査を遂ぐる由なり

●免許漁業の審査會 農商工部にては二十九日午後一時より前回に引續き免許漁業に關して審查會を開き西海區(自全羅北道至鴨綠江)に於ける免許漁業の件に付き審查する筈

●議會提出の各書類 統監府は第廿六議會に對し韓政府各部の政務を詳說する爲十二月五日迄に所管事務の過去及現在並に將來計畫の狀況を調查し報告す可く各部へ通達せり

●書記官會議の議事 過日開催せられたる道書記官會議の議事錄中差支なきものは內部に於て印刷の上發表し道政に資する筈なりといふ

●仁川分監の落成式 仁川監獄分監は目下新築中なるが遲くも來月中旬迄には竣工すると共に現在の理事廳內より新廳舍に移轉すべしと

●御苑囑託員の着任 新に韓國宮內府御苑事務局技務囑託に任命せられし五十嵐恩次郞、岡代延彥、福羽恩藏の三氏は二十八日着任す

●地方費未提出三道 地方費豫算未提出は忠南、慶北、平南三道にて其他は悉く提出濟なりといふ

●暴風雪と電信不通 二十九日夜來の暴風雨の爲め京城仁川間の電線に故障を生じて不通となれり

●大內代議士の東上 政務調査の爲入京中の進步黨代議士同氏は三十日出發郷里福岡へ立寄り東上

●在仁大分縣人會 仁川在留の大分縣人會は去る廿七日午後七時より八坂樓に於て開會したるが出席者七十餘名の多きに及び北島氏の開會の辭に次で幹事として廣池亭四郞、太田忍、山口幾太郞、佐藤巖、北島靜の五氏を推薦し終て宴に移り餘興としては琵琶、劍舞、手踊等あり盛會なりしと

●大內代議士招待 京城民團議員及び商業會議所議員等は昨二十九日午後一時入京中の大內代議士を京城ホテルに招待して午餐會を催したりと云ふ

●木內次官の消息 北韓視察中なる木內農商工部次官は廿八日元山出帆歸途に就きたれば兩三日中に歸京すべし

●谷川警部の歸任 兇漢安重根及び連累者審問に關し警視廳より特派したる谷川警部は二十八日旅順發昨夜歸任

●永濱氏へ下賜金 元統監府參與官永濱盛三氏は滿十四年以上在官に付き金二千四十一圓六十六錢下賜されたり

●阿部事務官歸任 度支部事務官阿部秀太郞氏は一銀引繼事務立會の爲め木浦へ出張中のところ廿七日夜歸任す

●須田囑託の榮轉 度支部囑託法學士須田近思郞氏は來る十二月一日より韓國銀行檢查課長に榮轉の筈なりと

●小松氏邸の移轉 小松統監府書記官は此程元鍋島參與官官邸へ移轉し篠田統監府秘書官は其跡へ移轉したりと

●英國商船の入港 英國商船パックリン及びリバポール號は二十八日上海より大連を經て仁川に入港碇舶中なり

●兒玉書記官歸任 上京中なりし統監府會計課長同氏は二十七日歸任せり

●吉村法學士入京 吉村五郞氏は去る二十七日入京浦尾旅館へ投宿したり

●若松理事官入京 平壤理事廳理事官若松兎三郞氏は廿七日入京巴城館へ

●赤松時圓氏入城 漢湖農工銀行忠州出張所支配人の氏は廿八日入京せり

●藤掛直一氏來京 金城金融組合理事の同氏は廿八日入京三日月旅館投宿

●庄野雄次氏退京 滯京中なりし辯護士の氏は廿八日馬山へ向つて出發す

●藤谷大尉の出張 京城憲兵分隊附憲兵大尉藤谷淺吉氏は廿八日大邱出張

●塚本技師の移轉 塚本道遠氏は此程旭町一丁目度支部官舍へ移轉せり

●山邊書記官移轉 司法廳職員課長山邊勇輔氏は西小門官舍第二號へ移轉

●米國領事の訪問 米國領事グールド氏は廿八日午前統監府を訪問したり

●石塚長官の微恙 石塚長官事務取扱は微恙にて昨二十九日缺勤靜養せり

民長問題と觀測

民長候補選定に關する各議員の步調は遂に六花八裂の觀を呈し恰かも昨朝の飛雪に似たり而して詮衡委員報告會の結果は別項所報の如く分裂し更に決選投票を行ふに決したるが此後の形勢如何に就き某觀測子の語る處によれば是れ畢竟野心の角突き合に基因せるものにして某々議員の如きは明かに色氣を仄かし最も婉曲に其希望を香はし居れり斯る次第なれば縱令衆議を糊塗して就任し得るも多數の敵を覺悟せざる可からず結局混戰の結果は相互感情の上に行違を生じ更に一層の難境を誘致すべき事明かなり現に山口氏は各社の重役を兼務し多忙の境遇なりとて殊更に辭意を裝ひ居るも滿腔の野心勃々として居留地元老の美名を冠し周圍の强請を得んと潛かに運動を試み居るが如し其他中村再三氏も亦自薦自賛山口氏に劣らず和田常一氏に深く爪を匿くし居るも老功なる氏は徐ろに成行を觀望し退引ならぬ時機の到らん事を待ち居れり斯くて後任民長の椅子は野心家の爲めに玩弄せられつゝある爲め來月二日の決選投票も恐らく火花を散らすのみにて終はる可し而して斯かる紛擾を通過してまで漁職せんとする野心家の胸中如何なる成算ありや大に疑問なり要するに京城居留民は今回の事件に依りて自治の能力なきものと冷評せらるゝ事なくば幸なり云々(電通)

龍山通信(廿九日支局報)

▲鐵道廳大屋長官上京中岡運輸課長長官代理たりしが妻女病氣の爲同氏歸朝と同時に薩肥線開通式に參列の爲め出張せし鷲尾營業事務所長歸任せしを以て去二十四日より同氏長官代理となれり▲鐵道院元日本線顧問三の戶間に金田一停車場を新設し二十五日より運輸事務を開始せり▲從來南大門驛構內に置かれたる鐵道廳印刷局は今回龍山驛構內倉庫傍なる同工場に於て執務することゝなり目下移轉中

▲治外法權▼

京義線臨津江の鐵橋工事も落成に近んで愈明日から列車を運轉させるソーダガ之は一般の爲に賀すべきことである、シカシ玆に賀すべからざることは該工事に關し大屋鐵道長官と工事受負者との間に何か請托の形跡があつてソレが工事落成と共に發覺したとの評判が立つたことだ、煙の上がるところ必ず火あり大屋長官は一体何をしたのか▲今や大屋權平氏は新設韓鐵管理局長に擬せられて居る人である、此人にして不正請托の評を受くるは將來に於て鐵道經營上面白からぬ事である、鐵道當局者は是非共此際事實の有無を闡明すべきである▲西洋では法庭に於て原被兩告辯護人及び陪審人をして宣誓せしむるときに必ず手を耶蘇敎の聖書の上に置かしめる、而るに先頃ラゴスと云ふ地の法庭で陪審人をして宣誓せしむるときに折惡敷聖書が無かつた、裁判長は書記を派して聖書を求めさせた、書記は聖書を求めて得ず其代りとして聖書に最も近しと思ふ一冊を手にして歸り夫れを裁判長に出した、裁判長はそれを見ると表紙に『惡魔の悲しみ』と題してあつた、ナル程惡魔の悲の記錄は神の聖典に最も近きものであると早速採用して法庭宣誓に代用することを許した、之はウソの樣なホントーの話である▲我國の裁判が西洋にかぶれて證據調や權利義務に眞赤になつて居る間に本家の西洋では萬事が大岡流になりつゝある、つい此間も英國の或る裁判所では原被兩告が下らぬ理屈を並べて和解を承知せぬ爲に裁判長は本訴訟を十ヶ年間本官に於て預り置くと宣告した、越前守の得意思ふべしである。

八千代の弗箱（二）

▲恐はそうで優さしい鬼 ▲印度の色男然たる秋田

仁川税關の鬼さんと云へば名前ばかり聞いても恐さうな頑固なる男の様に察せられ、其實名前と容貌とは非常なる違ひで極く優しいハイカラの自分獨りは業平氣取りの色男である、而も鬼さんには頗的美人の歴乎とした妻君があつて物見遊山は勿論れ隨に行くにも一緒に行くと云ふ其はく〳〵の親密な情交は一寸人眞似の出來ぬ處である然れば恁んな男が藝者に惚氣るとは不思議な中の不思議で如何に考へても眞實とは思はれぬ、其れに何ぞや可愛い妻君を度外視に美妓に有頂天となるとは愈々闘り難なき世の有様かなと感心するは獨り三面子のみにあらざるべし、さてもさる程に天晴れ仁川一の美妓八千代はさなきだに不景氣なる仁川花柳界加之に霜枯れの淋しい折柄秋田と云ふ弗箱の出來し上に前記税關の鬼と云ふハイカラが殆んど競争的に滿腹の愛と黄金とを捧ぐるので何不自由もなく安樂に何時正月が來ても差支なしと澄し込み居る態寧ろ面憎きばかりにて左の手で秋田を右の手にて鬼を甘く抱き込み天津仕込みの懐腕を出して何れにも滿足を與へ居たるが或夜熟々思へらく、此儘長く續かば珍重此上なけれど人生不如意なれば尻の割れる時節の來るは必定、若し不幸にして然る場合に立至らんか二兎を追ふものは一兎を得ざるの世の慣ひ茲が思案の附け處と彼れを思ひ之を想ひ暫しが程は空想に耽りつ名案も出でざりしが鬼さんは顔こそ美しけれ端金の月給取り此方秋田の旦那は男は印度の色男然として取る處はなけれど金には不自由なからん、人間萬事金の世の中金さへあれば馬鹿も賢く見ゆるのみならず我儘の仕放題、此處は一ツ大決斷を以て戀に狂ふ鬼を千尋の底に蹴落し秋田獨りを守本尊にするこそ上分別さらなやと其よりは鬼に無情なく當り散らしけり、然れど一旦思ひ込みたる男の一念は千代八千代經るとも遂せで置くべきぞと件の鬼は意馬心猿の狂ふに任せ深草少將氣取りにて百夜通ひ詰めつゝあるが此先如何に成り行くやら刮目に價すれ

仁川の暴風被害

▲覆没船三十隻損害四千圓

一昨日來雲のたゝずまい何となく穏ならざりけるが昨廿九日午前二時頃より南風猶くも吹き荒み同三時頃に至りて雨さへ加はり電光雷鳴さへも伴ひて物凄き事云はん方なく此の大暴風雨は時ならぬ惨憺の狀を呈したり

▲覆沒船三十隻 第一に被害を受けたるは仁川港頭の船舶にして其筋の取調べに係る被害狀況は左の如し月尾橋東岸にて税關附屬のサンパン一隻沈没△同南岸にて韓人所有のサンパン一隻大破沈没△同橋附近繫留の木村組團平船一隻沈没△同稅關前にて韓國帆船一隻大破沈没△忠清南道生れ朴書房所有船一隻沈没及び渡船二隻大破沈没（帆船には米百俵積二百二十俵大豆二十俵積載せしが何れも流失したり尚は同船には韓人船頭七名客人八名を乗組み居たりしが幸ひにして陸上に避難せり）△稅關棧橋附近にて天神丸大破沈没（積荷全部流失）△小竹丸破損沈没△海岸通一丁目海岸にて韓帆船三隻流失△同サンパン二隻沈没△水產會社横にて吉貴組團平船二隻沈没△燈臺局大サンパン沈没△同帆船寶祚丸沈没

▲損害額約四千圓 右の外被害船舶算なく沈没船のみにても三十隻以上に及び仁川署員は總出にて警戒に任じたる結果十七名の漂流者を救助したるも何分近來稀有の大暴風雨の事とて三名の行衞不明者を出し韓人の溺死体一を發見したり損害額約四千圓と計上せらる

▲大電燈柱の燃燒 尚ほ同二時頃日本公園の大電燈柱に發火し燃燒の火片四邊に飛散して危險なりしが其筋より警官及び電燈會社より社員出張し漸く消止めたるが這は雷鳴に加ふるに風雨の爲め柱頭裝置の開閉器に發熱を來したる爲めなりと云ふ

惡屋人縛に就く

▲南部署に檢擧さる

千葉縣安房郡南三原村大字下三原自稱千葉縣安房郡南三原村四百十四番地平民無職笹子與兵衞（三七）は郷里で不正の行爲のみ働き遂に内地にも居堪らず卅七年三月二十日渡韓し本町四丁目河村白瓢號といふ小間物屋に雇はれたるも一旦墮落の淵に陷りし身は眞面目の商賣が嫌になり忽ち例の放蕩を初めたる爲め解雇せられ朋友知己には不義理の借財をなして京城にも居堪らず四十一年六月上旬滿州に入込み奉天、鐵嶺、大石橋、大連地方を股に掛けて徘徊して常に僞詐的行爲のみを働き同地方を一通り荒したる後同年十月再び京城に舞戻りて明治町の下宿屋東屋に止宿して其後宿料を踏倒して逃走し本年四月春川に高飛して無資本にも拘らず大膽にも洗濯業を初め依頼を受けし衣類數點を他に賣却して直ちに鱗蹄に至り材木商を開業せんとして資金に苦しみ且つ冬期に入りて閑店するの止むなきに至り又候大膽にも春川に引返し窮乏の餘り一時春川郡府内面司倉里大工職萩野新介方に雇はれ猫を被つて眞直に働く者と見せかけ漸次信用を得て惡事を企てんと時機の至るを待つ内恰かも去る十月二十二日百五十圓を渡され材木買入の爲め鱗蹄地方へ出張を命ぜられたるより渠は奇貨措く可しとなし其儘該金を拐帶逃亡して直ちに京城に來り衣類商端に四十餘圓を費して身の廻りを作り太平町料理店九州樓酌婦に日夜入浸り新町遊廓なぞにも足繁く登樓して忽ち百五十圓は酒色に消費し盡したれば這度は亦他の方面に惡手段を謀計て其着手最中の處を天網いかで斯かる惡魔を何時迄も見逃すべき同人の擧動に早くも不審を抱き烱眼なる南部署長野工藤兩刑事内偵の結果此程如上の事實を探知して同人が明治町の曖昧屋に潜伏せるを難なく捕縛して田部警部嚴重取調の結果遂に包み切れず前記の犯罪自白せしかば身柄は一件書類と共に一昨日檢事局に抑送せられたり

四十萬圓の砂金

▲韓人二十名協力して數十年を經て蓄積す▼

此程の事なり丙穢しき風体せる韓人三名理事廳に出頭し我等の同志二十名數十年間協力して諸所より砂金を蒐集し約十萬匁を蓄積し得たり何とか處分の方法なきやとの申出に實地を調查し見れば申出に違はず市内某所に砂金の山を築きれるより色々詮議の末大阪造幣局に當り貨幣に鑄造する事となし沿道等も不穏の災なきやう理事廳よりそれ〳〵通牒を發し尚ほ證書等を與へ愈々來月一日當地出發渡日の途に就く筈なるが一匁四圓と見積るも優に四十萬圓の巨額を算する事とて係官等も呆氣に取られ色々蒐集の方法等を聞訊し見たるが右は上流に鑛脈を有する河流にひたり若くは河川の埋沒して田に變じたる箇所なぞをあさり又或者は地方を驅け回りて砂金さし見れば直ちに買收し苦心百方漸やくにして十万匁に達したりとの逑懷ヨボならでは出來ぬ藝當なり

延安郡守の横暴

▲排日の徒に消息を通ず

黄海道延安郡守莊明成と云ふはつい一昨年の春頃迄は同地方に於ける暴徒の一人として聲望高く一方の旗頭として同臭の間に重せられし者なるが其後現黄海道觀察使趙羲聞の同道に赴任さるゝに及び同氏の混き勸誘に服し遂に歸順の誠を致すに至りしが根が慧猾なる莊とて其間巧に趙に取り入り到頭現任を贏獲るに至れり然るに莊は其後段々坐位の温まるに伴れ漸く浸心し不埒にも地方排日の徒輩と頻に消息を通ずるさへあるに近來又々在來の儒數を奉戴する照明、德義の二校を廢し新に鳳南と稱する外數組織の學校を起し父兄の不承知なるにも關はらず無理往生に子弟の入學を强ゆる等頗る横暴を極むるより流石素朴なる人民も默りては居ず郡守莊の專横を鳴すと同時善後策に就き荐りに協議を凝し其筋に向ふて其情を具陳し是非復舊の運びに至らしめんと何れも躍鬼となり致闘き居れりと同地方歸來客の談を其まゝ

三面電報

▲大相撲番付發表期 四十三年春場所大相撲は一月二日番付を發表し八日初日取組の筈也（廿九日）

韓人竊盜檢擧せらる

▲京龍仁間を荒廻る

目下住所不定の韓人自稱朴金午（三〇）といふは八歲の時釜山在留の船乘業小原長次郎といふ者に伴られ日本に渡り熊本郡熊本市上通町三丁目廿四番地の長次郎の知己某の所に雇はれ十九歲まで十二年間同地へ在留し門司に引返り玆處にも四年間働き居たるも思はしからず本年京城に歸りて巧みに日本語を操り日本人の服裝を爲して村田一雄、村田一藏、木村一雄等種々に僞名して不正の行爲のみ働きゐたるが遂に窃盜と化し去る十一月二日京城鐘路中央觀覽所に於て權學淵なる者の銀側時計一個を窃取せしを手初めとして京龍仁を荒し廻り居たるを明治町派出所巡査に探知せられ四五日前捕縛して本署に引致し司法警部に引渡したるが同人は永年日本に居住せしに依り非常に日本語に巧にして反つて韓語にては殆んど談話も出來ざる程なるが尚同人は餘罪多くある見込にて嚴重尋問中なり

琵琶藝妓艶子の片戀

▲某局長の誤艶聞

一昨日曜の眞っ晝中當地御歴々の學士連中數名が花月に會飲召されしが膳の數とた客の數と揃はぬのを見たる艶子と申すボロ藝妓が松王もどきで跡が方は何方ですかと尋ねける故丸井○長御一人なりと聞いて莞爾と笑める其の擧動如何にも不審かしきを井上東拓理事感付き丸井が來るのが何故嬉しいナニ隱くしても駄目だ其顏にチヤンと書いてあるサア其譯を聽ふと責め立て居る處を他の人々も加勢して艶子を取捲き遂に白狀させたる件の條々は恥かしながらも氣の利かぬ朝顏宜しく三年以來の戀物語りは何時ぞやも統監邸でれ目見ねしか時も密つと意中を打明れる程戀しくて溜まらず如何しても厭なく思ひ夫れからと云ふもの御挨拶にかしたるに剣もホロヽの御挨拶に情けめる事が出來ませんと跡は涙に時雨れけり詮議立てした井上さんも罪だが丸井さんも餘まりだわと側で見て居た女中の噂を其儘

●京城の初雪

本月中旬より下旬に渡り例年になき高温を呈し降雪の期遅延し漸く廿四五日は平均氣温氷點下に降り却て南韓地方に初雪を見しも當地に影響を受けず翌日再び氣温上昇せしが今朝低氣壓日本海北部に出現し未明電雷に伴ひ暫時降雹ありたる後は天候一變して午前六時より初雪降り昨年に比して約一ヶ月遅し

地名	本年		昨年
京城	十一月廿九日	晩	三十日
城津	十一月四日	早	四日
平壤	十一月十九日	晩	十三日
木浦	十一月廿四日	晩	十五日

●漢城病院の新醫

組織變更後の漢城病院は院長安藤一郎氏醫員を督勵し院務に精勵せるより診療を求むる患者頓に激増せし由なるが從來同院產科婦人科を擔當し熟練の聞ね高かりし山添氏は今般都合上退職し福岡醫科大學產科婦人科病院の助手たりし醫學士本間健兒氏之れに代りて此の程着任したり氏の最も得意とする所は開腹術に基くアレキサンダー、子宮癌腫の手術等なりとか然るにても韓國醫界に此の人を得たるは單に一漢城病院の爲めのみならず一般居留民の幸福と云ふべし

●一昨夜の新町

遊廓の嫖客は百十四人散財高七百九十九圓五十五錢なりしが霜枯れ時としては近頃の殷繁昌也

吉凶

本町五丁目 三一館判斷

●十一月卅日●舊十月十八日●四綠●先負●甲午●あやよふ△一白● 盜害水損水厄を恐るべし移轉旅行轉職等良し△二黑● 破綻を見るなり婚姻結合等大に凶其他概して不快の日なり△三碧● 恩を施し仇を作ることあり尚强談無心寄附勸財に應ずる勿れ△四綠● 衰頽を意味す新事變更凶尚盜害紛失又は人より怨を受くるあり△五黃● 相談契約等凶賣買取引貸借面白からず負傷防ぐべし△六白● 陰徴の運命日なり創始改易凶但し勤士建築には吉△七赤● 艱難の日なり留意すべし中絶不和防ぐべし△八白● 盜賊の日なり盜難爭論を防ぎ家畜に注意すべし△九紫● 證券印章の事に留意すべし改革變更良好音信多少の好事を齎らすあり

◀平民文庫▶

▲車は少し舊いが北米倉町に銀水と云ふ小料理屋があるが其所の酌婦が、枕元にランプを點して寢た所で其れを傾倒して火は頭髮を燒き寢衣に燃え移り殆んど死なん計りの大火傷をしたさかです皆さん御注意を（花子）●●

▲龍山三山さんにお願を申し上げます早速驗して試させて居ります（靜江）●●▲太平湯を發つて居た前隱と云ふ雜貨屋は廿七日夜逃げを爲たとかである（通信生）●●▲西小門通りの越中屋の小豆色の縮緬の三つ紋付羽織を着て居る淫賣があるが生スヽき加減は實に嘔吐が出る樣である當人はモウズツと大氣取りで鼻持ちもならない（通行人）●●▲此の頃の不景氣さ加減を知りたいと思はれる方は何うか一晩永樂亭の裏手へ出掛けなさつて御覧なさい實際驚く可きものがあります、此の寒いのに錢を出しては浪花節も聞けないと計りで横手の窓へ取り付いて居るもの無慮三十名は確かです、全く入場て居る人の數よりは十人位多いのですもの泣き度くなりますよ（下足番）●●▲在龍山喜多喜多郎の投書は要領を得ざるに就き沒とす（係）●▲串戲ちやないよ新紙の列りとは自重自尊社會の木鐸を以て任ずる新聞社の處置としては實に感服仕らぬ次第である、序に言ふ日々の温度が最低と最高とが毎日反對して居る（はの字）●▲恐れ入つたハヽヽ（係）●▲去る日曜日に昌德宮に行き博物館では個の美術品、參考品ならば兎に角、予は何だか不愉快な感が起つた何が借にして韓人の手に入りしものか單に一本製の甲胄を見たが抑此の甲胄は如何先づ聞たいは此の甲胄の出處である（仁作）●●▲壽座の活動寫眞は伊公國葬の光景が呼び物である映畫も鮮明で説明も可なりです一度は皆さん觀て置きなさい（寶見生）●●▲昨晩の暴風は隨分酷かつたあの霰の降り塩梅雨の調子と來た日には寢て居られぬ程であつたが私の下宿してる家の女中ども一人としてアレを知つてるものが無い尤も疲もあるからだらうが少し酷（南山生）●●

●天氣豫報

（自廿九日午後六時至三十日午後六時）

北西風曇後晴氣温降ル

●警備電話布設急務

[illegible] る一派の不逞韓人あり其筋にては之 [illegible] り水利組合は性 [illegible] 伊藤公國葬に對する謝罪の爲め謝罪使の渡日に伴ひ [illegible] て接續されつゝあるが斯くては機敏を要すべき警察事務上時機を逸するの虞あり [illegible] 執務の上に頗る不便なるを以て此際萬有線に沿ひて警備電話を布設 [illegible] 南北道、今羅南北道、忠清南北道等の如き暴徒の巣窟とも云ふべき地方に國有線の架設され居らざる上に警備電話の布設され居らざる有様なれば來年度に [illegible]